

広報

ふじかわ



5月号

●平成元年5月6日発行 No.334

町のメモ

平成元年5月1日現在	
人口	17,251人
増減	+21人
男	8,509人
女	8,742人
世帯数	4,572世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121



新しい施設で
子どもの成長を願って
(保健センター)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

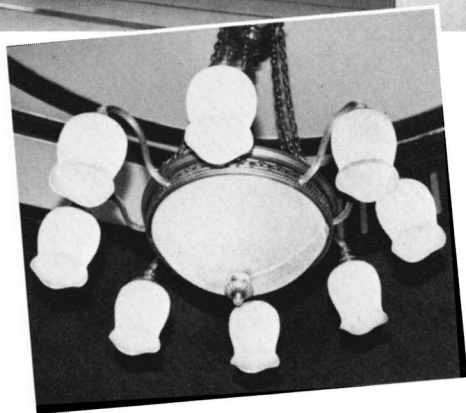


古谿荘を考える

歴史的ロマンが 生き続ける場所

古谿荘（野間別荘と言った方がわかるかもしれませんが）は、今から約八十年前、明治四十二年に誕生しました。建てたのは、時の宮内大臣田中光顕伯爵。この田中伯は、土佐藩出身で、幕末の激動期は、高杉晋作・中岡慎太郎と共に戦い、維新後は、伊藤博文・山縣有朋らと交わり、陸軍少将、警視總監、貴族院議員、学習院院長を歴任した人物です。

シャンデリアにも当時の
ロマンが感じられます



田中伯は、大正三年から七年まで、この古谿荘で隠居し、その後、蒲原町宝珠荘（現在、日本軽金属所有）に移ったのです。昭和九年、満州国皇帝溥儀に古谿荘献上の話が持ち上がり、当時の県知事の案内で、公使一行が下検分に岩渕まで来ており、新聞に「風光の岩渕は又、国際政治の岩渕となる」と書かれたほどです。しかし、他国への献上は日本国領土割譲になることから、昭和十一年、講談社社長野間清治氏に譲られました。この時、田中伯は、初めは百万円

で譲る予定でしたが、野間父子と会い、剣道の達人であった恒氏にほれこみ、「営利を目的とした事業に使用しない」という条件で、半額にも達しない額で承諾したと伝えられ、現在は、勸野間奉公会の所有となっています。

建築と庭園の 美しいコントラスト

田中伯は、県知事や町長に土地買収を依頼し、国道一号线をはさんで両側に、約二万七千坪の土地を確保しました。現在では、一万六千坪あまりになってしまいましたが、この広さは甲子園球場より大きい面積になります。

建坪が九百四十坪におよぶ大規模な木造建築は、三つの回廊が巡り、大小三十余りの部屋が、この回廊に張り付くように配置（図1参照）され、当時の御用邸や離宮といった宮廷建築をほうふつさせるものがあります。書院風の大広間に始まり、数寄屋風の居間、八角形をした洋間など、材料・技術とも最高レベルといえる

でしょう。電灯設備、水洗便所、ボイラーによる給湯なども、当時はまだめずらしく、もちろん、町でも初めての装置でした。

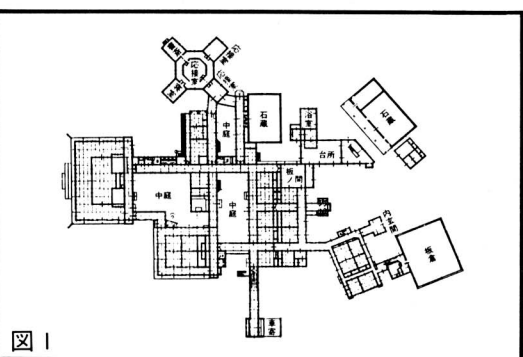
庭園は、回遊式日本庭園と温室や果樹園からなる西洋式庭園で、富士山、富士川、駿河湾、伊豆半島を借景とし、広間から赤松越しに見る霊峰富士の眺望は絶品です。現在、流水は止められています。アユもいたという数寄を凝した流れ、池・滝を配した庭園の名残りがよくわかります。

歴史的・文化的 調査が始まりました

昨年、勸野間奉公会のご理解により、古谿荘の調査が進められています。建築関係の調査が豊橋技術科学大学の小野木重勝教授によって行われ、今年になって京都芸術短期大学の武居二郎教授により、庭園関係の調査が始まっています。しかし、この古谿荘について、具体的な事実関係はわからないことが多いのですが、建物・庭園とも、文化的価値が高いことは、明白になっています。

六月十七日・十八日に庭園を中心に公開されますので、明治のロマンをかきたてる古谿荘へ、ぜひ、おでかけください。

古谿荘——明治時代につくられた近代和風建築と広い庭園。
文化的価値や保存のための施策やこれからの有効利用を考えていくことは、わたしたちのまちにとって、大切なことです。
今月は、この古谿荘の話の特集してみました。みなさんも、古谿荘とまちづくりについて、考えてみてください。



これからの町づくりに

大きな要素

加藤 義明 (旭町)



明治時代に建てられた建物も、老朽化が進み、どのように保存していくか、大きな問題だと思えます。それと同時に、観光資源の少ない私たちの町にとって、この歴史的資産と庭園や庭園からの富士山、富士川の景観は、これからの町づくりを考える時、大きな要素になります。ぜひ、子どもからお年寄りまで楽しめる活用方法を期待しています。

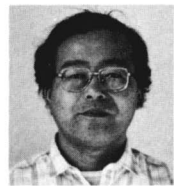


多くの外国人が
楽しめる施設に
上野みつ子 (南町一)

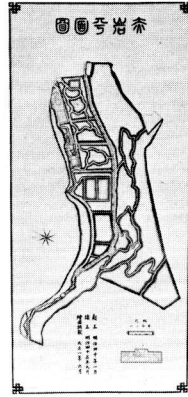
25年前、私たちが訪れても気軽に開放してくれたような記憶があります。しかし、最近では京都でも、人数を制限している所も多く、自由に公開するといったも、ある程度の規制やマナーには、気をつけなければなりません。国際化といわれる今日、国家的な財産として、多くの外国人が楽しめる施設として、使われたら素晴らしいですね。

古谿荘の修復と
保存のための措置を

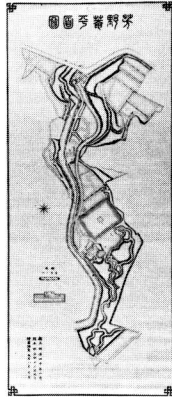
渡辺 英樹 (本通一)



古谿荘は、明治末期の近代和風建築と富士山・富士川などの自然景観を意識的にとり入れた回遊式庭園として文化的価値を持っている。また、元勲田中光顕の生きてきた明治維新から昭和前半までの歴史の証人としての価値もある。建物の痛み、庭園の荒廃も進んでいるので、まず、この修復と保存のための措置が、優先される時期にきている。



一葉庵 (赤岩離邸)
谷津沢の上流、八坂神社の南側、清楚な梅林の中に、一葉庵と呼ばれる離れがあったそうです。ここから、古谿荘の飲料水を引き込み、現在は貯水池だけが残っています。



芳野庵 (吉津離邸)
東名高速道路の富士川サービスエリア北側に、大きな貯水池があります。ここから、古谿荘の庭内を流れた川の水を確保すると共に、田中伯は、ここに芳野庵を営み、屋形舟を浮かべた。

古谿荘の庭園を散策してみませんか

6月17日、18日

- ☆古谿荘南側日本庭園公開
- ☆苗木の無料配布 (千株)
- ☆園芸市 (即売会)
- ☆野だて

—まちづくり講演会—

- 日時 6月17日(土)午後1時~
- 会場 中央公民館ホール
- スライド上映 「古谿荘」
- 講演 「明治時代の国づくり、町づくりと建物」
東京大学名誉教授 松村 貞次 郎先生

まちづくりイベント

こけいそう・こけいそう・こけいそう



果樹園
「リンゴ、梨、桃もやってみましたが、この頃は、みかんと柿と枇杷だけに」と伯は話している。

温室
伯は、多趣味であり、その1つとして園芸があった。「メロン栽培もやっていたが、骨が折れる」と嘆いていた。

古谿荘本館

回遊式日本庭園
赤松に力芝、そして富士山、富士川の借影

竣工
明治四十年五月
増築
明治四十五年九月
大正八年六月

国道一号线
当時はかなり狭かったようです

表門番所
正門

芝生広場
西洋式の園遊会を催したかもしれない
清流の中にはアユ・ウナギなどが多くいたそうです。

芭蕉庵
茶室があったようですが今は芭蕉がひっそりとさいているだけです。

現富士川消防所

古谿荘の昔の写真・文書等をさがしております。
また、古谿荘、あるいは田中伯に関する言伝え、思い出などがありましたらお知らせください。
◎連絡先 役場建設課 森
☎81-1111 (内)242

こけいそう・こけいそう・こけいそう

生涯学習の窓

『子供の発達と親のあり方』をテーマに

家庭教育学級開講

生活の向上、自由時間が益々増加するなかで、健康の維持増進をはかる活動や、心の豊かさを求め、学習それ自体

を楽しむとする傾向が強くなり、余暇を利用して、趣味やスポーツを楽しむこと、読書や芸術鑑賞で時を過ごすこと

地域づくりに参加すること

等様々な活動に積極的に取り組むこと

よって、その人の人生は、充実したもの

になると思えます。

なかでも家庭教育は、健全な青少年を育てるうえに

大切な役割を

講演に聞き入る寺小屋学級生



なかなかも家庭・健全な青少年を育てるうえに大切な役割を

になつています。

子供を持つ親であれば、我が子の健やかな成長を期待しない人はいないでしょう。

子供がいくつになっても親は我が子のことに関心配なものです。

しかし、最近では、登校拒否、万引き、暴走行為等社会に迷惑をかける行動が多発してきています。

これらの原因は複雑ですが、一般的に見て

社会生活を営む基本的な条件

情緒の安定や情操の豊かさ

といった心情、思考力・忍耐力

・判断力などの基本的な行動

基準が身につけていない子供達に起きています。

昔をなつかしむのではなく

今日の環境の中で子供達を健やかに育てるにはどうしたら

よいか——を学習のめあてとし、町内の幼・小・中学校で

家庭教育学級が開講されます。

家庭教育はまず大人から——あなたも参加してみませんか。

グループ紹介

学習グループ『しぎね会』

——自然を大切にしている心——

「私たちが生きている身近かな自然環境は、まだとても素晴らしい。そのことを山野草はよく教えてくれる。」

道端や、まだ放置されて残されている畑で見られる黄色い花だけ数えても、キツネノボタン・ハハコグサ・タガラシ・オオジシバリ・コーゾリナ・オニタビラコ・カタバミ・タンポポ……など。

そんな雑草の名前を知ってなんになる、と思う人が多いでしょう。しかし、二十一世紀に、人間がより人間らしい

生き方をしていくためには、身近な自然を本当に大切にすることを作っていかなければ、教育委員会が、六十二、六十三年度に開催した『自然と

のつき合い方教室』で、山野草や野鳥の学習をした仲間三十二人が集まって自主学習グループを作りしました。

観察会は、町内の低い山や山裾のごく身近かな自然を対象として、雑草と言われる目立たない草花と親しむことがねらいです。また、観察日は四月十三日：吉津・五月十一

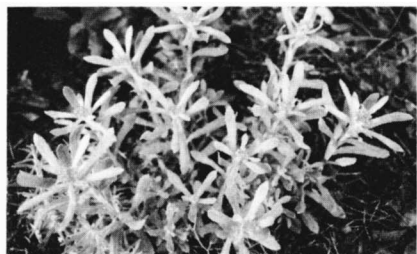
日：大平山・六月十五日：室野坂・七月二十日：野田山と

一回の予定です。

参加は、現地集合、完全徒歩が原則です。

年会費……一五〇〇円

参加希望の方は、宮町・池谷九万夫さんまで御連絡を。



陽光のもとで、すくすく育ったハハコグサ——春の七草の御行です——

5月～6月の予定

【5月】

- 10日(水)～13日(土) 修学旅行(一中)
- 14日(日) 富士川町子供会球技大会
町長杯争奪ソフトボール大会(富士川河川敷)
- 15日(月) 清掃活動(一小)
- 16日(火) 富士川地区親子スポーツ教室開講(毎週火曜日・10回)
- 17日(水) 自転車教室(一小)
- 18日(木) 松野地区親子スポーツ教室開講(毎週木曜日・10回)
- 19日(金) 名画鑑賞会(中央公民館)
- 20日(土) リレー大会(一小)
- 21日(日) 体協会長杯バレーボール大会(家庭婦人の部)
- 23日(火) スポーツテスト(二小)
- 27日(土) 小運動会(さくら幼稚園)
小車生産活動(二小)
- 29日(月) 町老連ゲートボール大会
- 30日(火) 校内陸上記録会(二中)

【6月】

- 1日(水) スポーツテスト(一小)
- 3日(土) 小運動会(二小)
- 9日(金) 軽スポーツ教室(社会体育館)
- 9日(金)～10日(土) キャンプ(二小)
- 11日(日) 各区対抗町民バレーボール大会(社会体育館)
尾崎杯争奪剣道大会(一小体育館)
- 13日(火) 校内陸上記録会(一中)
- 15日(木) 映画教室(二小)



図書室だより

——読書でこどもの心を豊かに——

5月1日から14日まで『ふしぎだね、おもしろいね、本の世界』を標語に「こどもの読書週間」が行われます。

こどもたちに、よい本に親しむことや、読書の楽しみを知らせ、正しい読書の習慣を身につけさせるよい機会です。

大人にとっても、こどもの読書が、物事を正しく判断する力をつけるためにいかに大切なことか、よい本を与えるためにどう努力をしたらよいか考えるよい機会です。

先日、図書室に本を借りにくる二人の小学生のお母さんと話をする機会を得ました。

「娘さん、たくさん本を読みますね」と言うと「こどもを本好きにするのは親の責任だ」と思っ、小さい頃は読み聞かせをし、今もこどもが本を読むのを、かたづけをしなうお話を返ってきてとてもう

れしい気持ちになりました。

こどもの身近かにいつも本を置き、幼児には大人が絵本を読み聞かせ、また、一人で読めることもなら、そばにいて本を読むのを聞いてあげる

そして、大人の読書する姿をこどもの眼にふれさせることが大切なことだと思います。

ぜひ、読書を生活の中にとり入れ、本を中心にした親子の対話を楽しんでください。

読み聞かせをしたければどんな絵本を、どのように読み聞かせたらいいかわからな

いというお母さんのために、絵本の読み聞かせの手引書、

「ね！おはなしよんで読み聞かせの手引」0歳から6歳までの絵本」が、親子読書推進協議会から発行されました。この手引書は一部一五〇円で

ご希望の方は、中央公民館図書室(八一―二三三三)へお申し込みください。



グループ紹介 ⑧ ☆

四十九町カラオケ愛好会

このグループは、地域のコミュニケーションを高める目的で、歌の好きな人たちが集まり、四年前にスタートしました。

はじめは会員のカラオケ機を持ち込み、遠慮しながら歌ったものですが、現在では、四十九町公会堂の二階に、みんなが気軽に入りのレーザーディスクのカラオケ機が置か

れ、月二回の集まりに会場は、華やかな歌声でいっぱいになります。

「他のカラオケグループとも交流し、いろいろな人たちと知り合うことができ、町内のどこで出合っても、笑顔のあいさつができて、本当に嬉しい」と望月恒次郎会長は話します。

会員は二十人。練習日は、第一土曜日・第四日曜日で、好きな人が好きな歌を四・五曲歌い、会員でなくても近所の人気が軽に顔を出し、楽しい一時を過ごしています。

また、ダンスの上手な人もいて、ただ歌を歌うだけでなく、デュエットしたり、歌にあわせてダンスを踊ったりして、練習に来た人全員で、この会を盛り上げています。

どなたでも遠慮なくおでかけください。そして楽しく歌ってみませんか。



町民ギャラリーで「松下好璋写真展」

町民ギャラリー(富士川駅構内)では六月中旬まで、「ふじかわと富士山」と題し、松下好璋写真展が開かれています。展示されているのは、日頃、私たちに親しまれている富士川からの富士山の写真六點。富士川の力強い流れや新幹線などが、すばらしい情景として写っています。

松下氏は宮町に住まれ、日本観光写真連盟会員をはじめ、多くの団体などに参画され、写真を通しての幅広い活動で、多くの方に親しまれています。

新しい区長さんが決まりました

- 区長会役員 (敬称略)
- 会長 浦田益男 新町本町
 - 副会長 芦川兼雄 吉津
 - 山口輝男 中野台
 - 理事 芦川照光 木島
 - 花田明 上町
 - 川端寿八 大楽窪
 - 滝建夫 東町一
 - 手島省二 南町二
 - 小川喜久 俣下町
 - 監事 佐野卓博 本通一
- 各区区長 (敬称略)
- ▽木島 芦川照光
 - ▽小山 常盤
 - 英明
 - ▽室野 谷津倉利郎
 - ▽相生町 丸山義昌
 - ▽上町 花田明
 - ▽吉津 芦川兼雄
 - ▽舟山町 齊藤静夫
 - ▽坂下 望月登美雄
- 旭町 花田義一
 - ▽堺町 小永井
 - 幸一
 - ▽川坂 小笠原広
 - ▽新町 漆畑 聡
 - ▽新町本町 浦田益男
 - ▽四十九町 久田芳男
 - ▽宮町 鈴木義一
 - ▽小池 田中幸雄
 - 大楽窪 川端寿八
 - ▽本通一 佐野卓博
 - ▽本通三 古木義治
 - ▽野卓博
 - ▽遠藤昭
 - ▽幸町 岩下勝
 - 信
 - ▽東町一 滝建夫
 - ▽東町二 関原重治
 - ▽日の出町 小笠原専次
 - ▽南町一 望月文男
 - ▽南町二 手島省二
 - ▽富士見町 深沢安行
 - ▽かぎあな 望月茂雄
 - ▽八幡町 望月豊
 - ▽中野台 山口輝男
 - ▽富士松野 望月好則
 - ▽清水町 久保田登
 - ▽大北町 五十嵐義紀
 - ▽俣下町 小川喜久

保健だより(保健婦から)

――マタニティー教室――

今月は、マタニティー教室について紹介してみます。

「マタニティー」って何ですか、どういう教室ですか？

と以前聞かれたことがあります。ですが、「マタニティー」とは妊婦さんのことを言います。

つまり、妊婦さんが集まって、色々な情報を得る所を「マタニティー教室」と名付けてあるのです。



昭和五十九年に「おかあさん教室」という名称で始まり、六年目を迎えました。これまで、一日一コースで行ったり、二日一コースで夜間に実施したりと、試行錯誤の繰り返しで行ってきました。今年度は二日一コースで、一日目は、妊婦体操を

夫婦でやってもらおうと、夜間実施にし、二日目は栄養について自分で調理しながら覚えてもらおうと、午前からは後を通しての実習にしてみました。

昨年度から、夫婦そろって参加する方たちが増え「いい傾向だなあ」と思っています。

でも……。この事業をやっている、不思議に思うこと、ありません。それは、出席人数にすぐく差があることです。二十人の妊婦さんが集まる時であれば、一人の時もあります。対象となる妊婦さんの数は、そんなに変わらないというのに……。なぜでしょうか？

夫婦でおでかけください

1日目	2日目
☆日時 偶数月の第3木曜日	☆日時 偶数月の第3金曜日
☆時間 午後7時～9時	☆時間 午前10時～午後2時
☆場所 保健センター	☆場所 保健センター
☆内容 妊婦体操	☆内容 妊娠中の栄養
☆持ち物 ビデオなど	☆持ち物 母子手帳
☆持ち物 母子手帳、体操のできる服	☆持ち物 米100g、エプロン

私たちが保健婦としては、出席者が少なくても、一生懸命実施しますが、仲間や友達をつくるという大きな目的が達成できないのが、残念です。

一人目の子も、二人目の子も、小さな命が育ち、生まれてくることには、変わりはありません。ぜひ、ぜひ、マタニティー教室に参加していただきたいと思つています。そして「こういう方法がいい」とか「もっとこんな内容がいい」という意見を、どんどん投げかけてもらいたいと思つています。

保健婦は、みなさんの意見をお待ちしています。

俳句会

影法師障子にぬくしハイネ読む
授乳すや類の産毛に春の風
花山菜黄雨にけふるに映えにけり
リホームに児の服作り蝶の昼
草薙えて風になびくをまだ知らず
うごくともなく雲遊ぶ春の空
夕鶯かけこみ寺にききにけり
五月病の子を励ますに酒少し
花馬酔木揺れて光の微塵かな
鶯に癒え口笛おのづから
木片の蛇に見えたる吐息かな
式終えて花の学舎去りがたし
病む人の話し合手や春の暮
寒雷の一つに闇の深まれり
つまづきて老を知りけり鳥雲に

東町二	加藤 京子
大北町	川崎 麻子
上町	斎藤つね子
富士見町	清水 淑子
大北町	宇佐美フク
小山	斉賀 圭子
富士見町	佐野 謹子
幸町	浦田たみ子
幸町	小林 正子
八幡町	奥野賀寿子
上町	望月 富子
大北町	勝呂 恵子
八幡町	大津かほ子
俣下町	望月すみ江
望月ひで子	

4月の交通事故

人身事故	5件(8)	合計13件(13)
物損事故	8件(5)	
富士川身延線	2件(3)	
国道一号线	6件(3)	
町道	4件(4)	
県道	0件(3)	
その他	1件(0)	

()は昨年

戸籍の窓

平成元年3・15〜4・14届出分

(敬称略)

おめでた

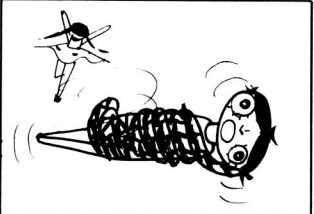
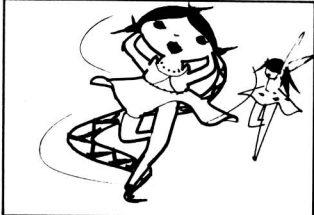
区名	氏名	保護者続柄
木島	佐藤周平	公一 二男
木島	佐藤俊介	克幸 二男
上町	望月亮良	文明 長男
旭町	若杉知代	剛 長女
堺町	齋藤健太郎	健次 長男
小池	木本雅哉	守英 二男
八幡町	稲葉紗和子	準一 長女
清水町	久保田香織	公敏 三女
大北町	和泉美佳	元 長女

相生町	篠田 彌天	八三
旭町	齋藤 はな	七一
宮町	柴川 ゆき	八四
宮町	堀越 辰男	四一
幸町	關原 清作	八〇
幸町	浦田 久助	八七
南町一	長沼萬之助	八七
富士見町	佐野 義策	九二
中野台	遠藤 ヒロ	九〇
大北町	後藤 芳江	六七

町への寄付金

社会教育事業費へ
二百万円 秀村敏朗(保下町)
井上文庫へ
十万円 富士川製紙(株)

星の子



社会福祉事業へ

三十万円 佐野実(富士見町)
社会福祉事業寄付金
三十万円 関原敦(幸町)
善意銀行への寄託
ぞうきん五十枚

遠藤福次 (本通一)

一里塚



二十歳を迎えた私達女性は、これから結婚、育児と長い人生の中で、最も重要で多忙な時期を迎える。

しかし、女性が家庭の中に閉じこもり、家事と育事にあぐらをかいていけばよいといった時代は過ぎ去ったと思う。私

はウーマン・リブ主義者ではないが、看護婦や保母をはじめとした女性にふさわしい仕事、たくさんあるのではないのでしょうか。私は、女性も職業を持ち、生活をエンジョイすることで、自分の能力と個性をのばし、社会に貢献するように努力すべきだと思う。私自身も、社会の幸福と自分自身の幸福が重なるこの仕事を、いつまでも続けていきたいと思っています。そのため

あわび

四月号の戸籍の窓(かなしみ)の欄で、小林辰男さん、五十歳を六十四歳と掲載しました。深くおわびし訂正させていただきます。

(大田由貴子)

お母さんの“知恵袋”

重曹を見直そう

むかしの人達は重曹を家庭の常備品として、蒸しパンの膨らし粉・山菜のあく抜き・こげた鍋みがき・虫さされのシップ・夏みかんの酸味とりなどに使っていました。

最近では、洗剤や脱臭剤として使われています。また、冷蔵庫や下駄箱の脱臭剤として開封してセットしておきま

すと、二カ月ほど効果があります。その再利用として、流し台・レンジまわり・冷蔵庫の清掃に布やスポンジにつけて磨きます。湯のみ茶碗・コップ・スプーンなどもピカピカになります。速効性と危険は、裏表です。安心して使える重曹を、もう一度見直してみましよう。

(婦人会 錦織)